

東京 北区・トライネットワーク

子どもと自然との ふれあい活動をすすめる



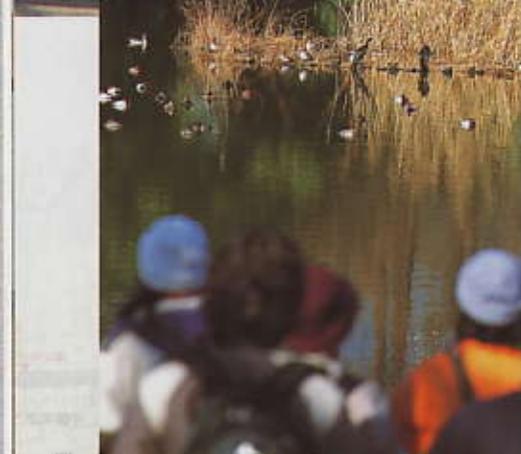


足立区

この日、「赤羽の旧街道探検—岩槻街道をたどる」と題したまち探検がトライネットワークの主催で開催された。江戸時代に将軍が日光に参詣する際の往還として使われたという岩槻街道に沿って、「古民家」、「寺・神社」、「崖・水」などのグループに分かれ、昭和初期から続く呑み屋さん、明治時代に建てられた旅館、湧き水の在り処、庚申塚など、普段は見過こしてまう場所をメンバーが案内役となって探検していく。終わったあと、地図にルートをプロットし、撮ってきた写真を貼りつけたり、説明書きを加えていく。

半か月後、やはりトライネットワークが主催して、都立浮間公園でバードウォッチングが開かれた。今度は「日本野鳥の会」の会員を案内役に、二〇名ほどの参加者が双眼鏡片手に園内を歩く。この日はカワセミなど水鳥が十五種、陸鳥が十種ほどが確認され、この都会の公園にも意外に多くの種類の鳥が棲息していた。今回は、後日開催する子どもたちを対象にしたバードウォッチングの予行演習の意味も込めている。これらの催しは、区の広報等にも開催案内を掲載してもらい、一般の人たちへの参加もつる。まち探検の時には、歴史に関心のある中学生二人などが参加していた。

トライネットワークは、平成三年の東京都北区の「青少年団体指導者講習会」に参加したメ



ンバーが「学んだことを地域のなかで活かしたい」との思いから立ち上がったグループ。いまでこそ、市町村行政が主催する講座などから活動グループが生まれることは、珍しいことではなくなっているが、トライネットワークはそのはしりといえよう。

現在、活動の中心は、子どもとその親を対象に、近くにある公園を利用しての自然教室などを主宰するほか、児童館や保育園と協力しての自然観察会の開催、小・中学校の総合的な学習の参加など、自然とのふれあい活動や環境問題への取り組みをしている。子どもたちに身近にある自然を五感で感じてもらい、感性豊かな子どもたちに育ってもらうことをめざしている。メンバーは、二十歳代から七十歳代までの幅広い年代が満遍なく参加している。最高齢の吉村さんは、娘さんから「面白い団体があるよ」と誘われ、昨年から入会し、親子二代のメンバーである。

このグループの特長は、現在、活動テーマは子どもを対象にした活動をしているが、かならずしもこれに限らないこと。同会が何をテーマにするかは、各メンバーが「自分がやりたい」と思う活動についての企画書を毎月開催される定例会に提出し、それについての議論が行われ、そこで合意されれば、会の活動して実施されるというシステムになっている。一例をあげれば、現在、六代目の会長を務める仁尾さんの職業は



裁判所の書記官だが、その専門性を活かし、「ボランティア活動と法的責任」ということに関心を持ち、企画書を提出。定例会の協議の結果、この問題をグループとしても取り上げるようになった。具体的には、この種の活動をするうえで、単にボランティア保険に入れば済むというものではなく、事故発生時の対処の方法、仮に裁判になった場合の対処方法などについても検討していくことが必要とし、専門家を招いての講演会を今年度は実施している。

もう一つの特徴はネットワークづくり。「地域活動にはネットワークが大切」と事務局を預かる豊田さんが言うように、グループとしてあるいはメンバー個人として、区役所、学校、ほかの住民グループなどとの関係を多岐にわたる。その中で、区教育委員会と一緒にやって行なう「らくらく環境講座」では、ワークショップのファシリテーター役や環境問題の集会のパネラーをするなど幅広い役割を担っている。

トライネットワークは、子どもの育成、環境づくりで地域のコーディネーター役を担っているといえる。

■連絡先||トライネットワーク

TEL/FAX 〇三三九〇八七〇〇一

<http://www.geocities.co.jp/Natureland/3879/>

E-mail trynetwork@nifty.com